

Google レンズの使い方

Google レンズは、Google が提供する AI を活用した画像認識・検索ツールです。カメラで撮影した写真や画面上の画像に写っているものを解析し、言葉で検索しにくい情報を「見た目」から検索したり処理したりできます。スマートフォン（Android/iPhone）の Google アプリやカメラから利用可能です。

1 Google レンズの起動

(1) Google アプリ（ホーム画面）

スマホのホーム画面にある Google 検索バーや、Google アプリを開いた画面にあるカメラマーク（カメラのアイコン）**①**をタップすると起動します。

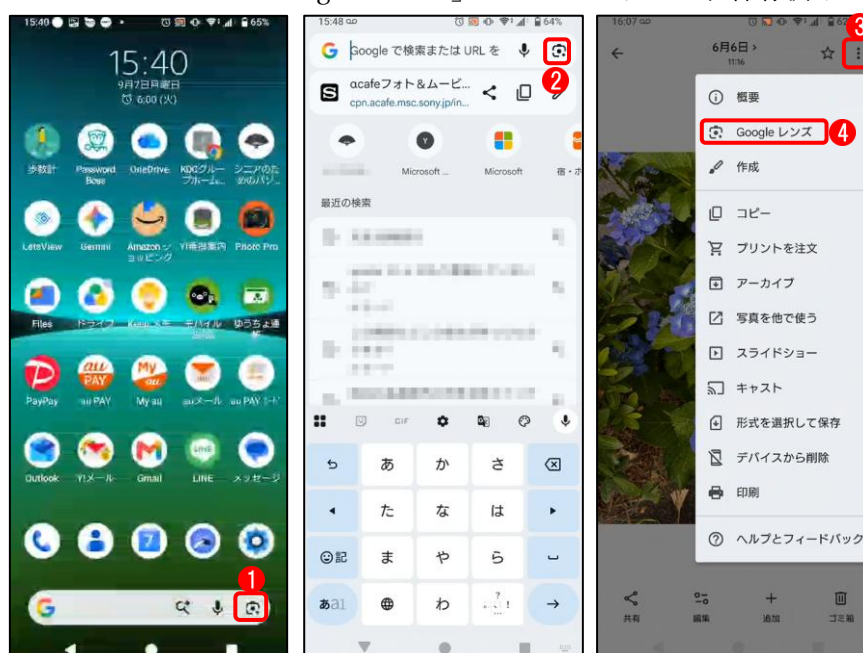
(2) Google Chrome（ブラウザ）

Chrome を開き、アドレスバー（検索窓）の右側にあるカメラアイコン**②**をタップします。

※カメラアイコンは、Chrome を起動した時点では表示されておらず、**検索窓をタップすると現れます。**

(3) Google フォト（写真アプリ）

撮影済みの写真を開き、画面右上の「その他のオプションアイコン」**③**をタップして表示されるメニューから「Google レンズ」**④**をタップすると、保存済みの画像から検索できます。



2 Google レンズの 4 つの機能

Google レンズには、次の 4 つの機能があります。

- ① **検索**：目の前にあるもの（植物、インテリア、服など）や手持ちの画像を認識し、商品名・名前・関連するウェブ情報を調べられます。
- ② **翻訳**：外国語の標識やメニューなどにカメラをかざすと、画面上でリアルタイムに元の言語を日本語などの指定した言語へ置き換えて表示します。
- ③ **会話**：カメラで周囲や物体を映しながら、マイクを通して AI とリアルタイムで音声対話ができる機能です。気になったことや操作方法などを声で質問してその場で確認できます。
- ④ **作成**：カメラに映した被写体や手持ちの画像をベースに、AI を活用してイラスト化などの画像生成や画像加工を行える機能です。



3 検索機能

Google レンズを起動すると、デフォルトで「検索」ボタンが選択されています。

(1) 花の名前などを調べる

- ① 「検索」ボタン①を選択し、名前を知りたい花などにカメラを向けて②、シャッターボタン（虫メガネアイコン）③をタップします。
- ② 花全体が枠で囲まれて画面中央に表示④されます。
- ③ 画面下部に検索結果が表示されるので、「-」タブ⑤を上方へスワイプすると、検索結果の全体⑥を見ることができます。
- ④ フィルター⑦を使って、検索結果を絞り込むこともできます⑧。



(2) 類似商品の値段などを検索する

- ① 「検索」ボタン①を選択し、値段などの情報を知りたい対象物にカメラを向けて②、シャッターボタン（虫メガネアイコン）③をタップします。
- ② 対象物全体が枠で囲まれて画面中央に表示④されます。
- ③ 画面下部に検索結果が表示されるので、「－」タブ⑤を上方へスワイプすると、検索結果の全体⑥を見ることができます。
- ④ 類似商品や値段を調べて、ここから販売サイトに移動して購入を申し込むこともできます。



(3) バーコードを読み取る

- ① 「検索」ボタン①を選択し、バーコードにカメラを向けて②、シャッターボタン（虫メガネアイコン）③をタップします。
- ② バーコード全体が枠で囲まれて画面中央に表示④されます。
- ③ 画面下部に検索結果が表示されるので、「－」タブ⑤を上方へスワイプすると、検索結果の全体⑥を見ることができます。



(4) QRコードを読み込む

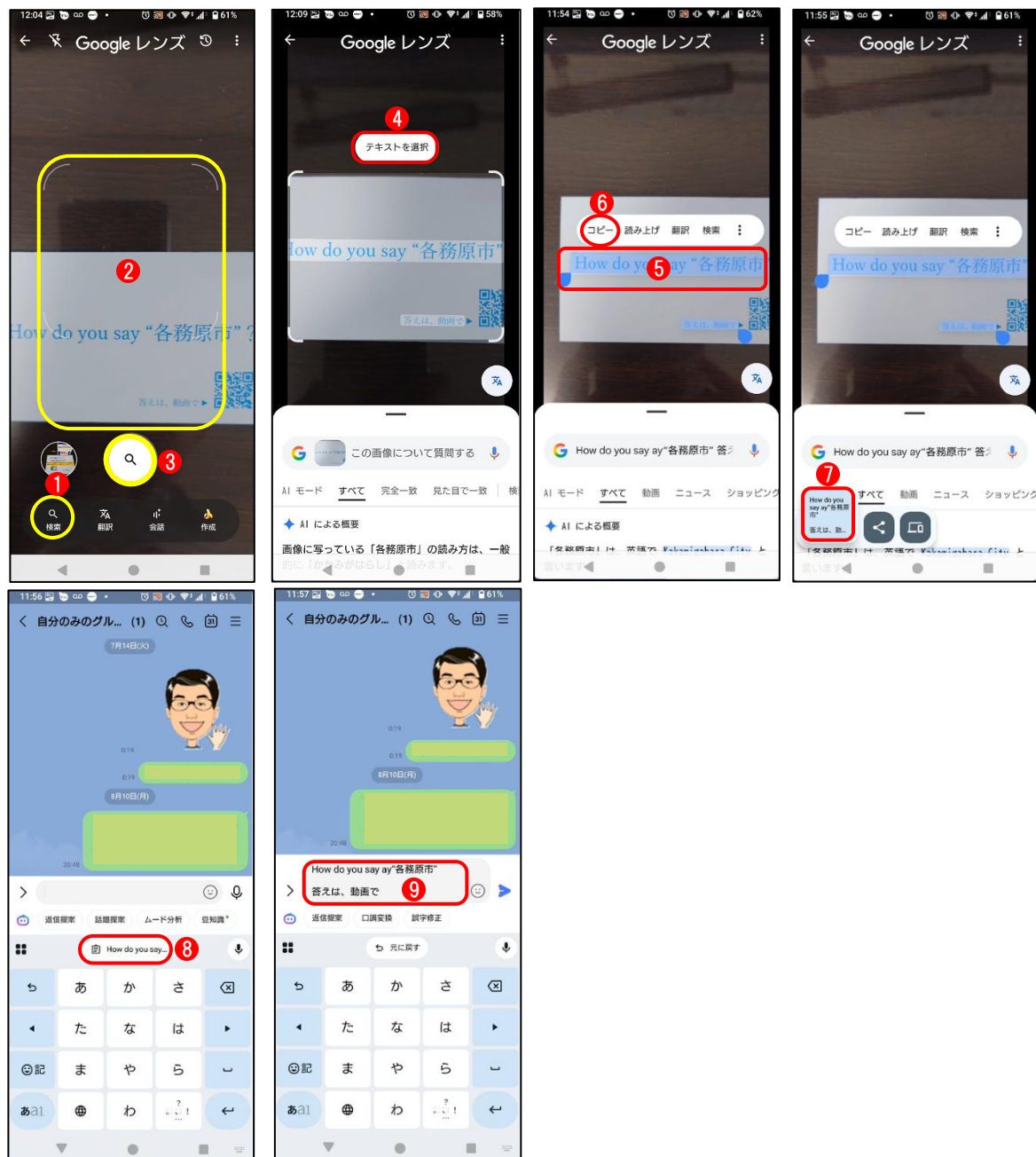
- ① 「検索」ボタン①を選択し、QRコードにカメラを向けて②、シャッターボタン（虫メガネアイコン）③をタップします。ここで、QRコードの上に表示される URL④をタップしても OK です。
- ② 直ぐに画面に検索結果が表示されます⑤。



(5) 文字をコピーする

画面内に映っている文字を選択すると、選択された文字（テキスト）をコピーして、他のアプリに貼り付けることができます。

- ① 「検索」ボタン①を選択し、コピーしたい文字の記載されているものにカメラを向けて②、シャッターボタン（虫メガネアイコン）③をタップします。
- ② [テキストを選択]④のポップアップが表示されるのでタップします。
- ③ コピーした文字の範囲を選択して⑤、新たにポップアップした選択肢から[コピー]⑥をタップします。
- ④ 検索結果の位置にコピーした文字列⑦が表示されます。
- ⑤ 他のアプリ（ここでは LINE）を起動し、テキスト入力欄をタップすると、先にコピーした文字列が入力候補⑧として表示されているので、タップします。
- ⑥ テキスト入力欄に、コピーした文字が入力されます⑨。



(6) 選択したテキストからいろいろな機能を利用する

テキストを選択すると、単にコピーして利用するだけでなく、選択したテキスト（文字列）の内容によって、そこからダイレクトにいろいろなことができます。

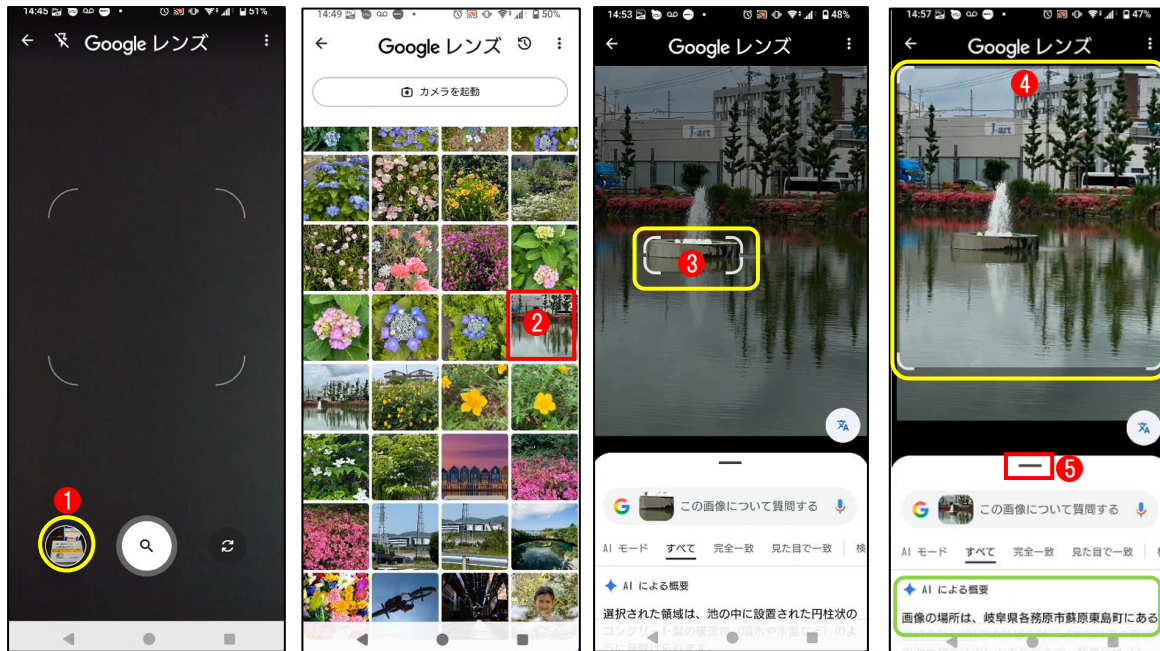
ここでは、名刺に記載されているテキスト（文字列）を利用してみます。

- ① 電話番号の文字列①を選択すると、ここから直接電話アプリを起動して発信することができます。
- ② メールアドレスの文字列②を選択すると、ここから直接メールアプリを起動して送信することができます。
- ③ 場所の文字列（住所）③を選択すると、ここからすぐにマップを表示することができます。
- ④ [その他のオプション]④から選択した文字列をパソコンにコピー⑤することもできます。



(7) 以前撮った写真の建物や場所の詳細を調べる

- ① シャッターボタンの左にある丸いアイコン①をタップします。
- ② 自分のスマホ内にある写真が表示されるので、検索したい写真②をタップします。
- ③ 白い枠③が表示されるので、画面いっぱいに枠を広げます④。
- ④ 「-」タブ⑤を上方へスワイプすると、画面に検索結果が表示されます。



4 翻訳機能

Google レンズでは、外国語を翻訳することもできます。書籍でも街中にある看板でも、とにかく外国語で記載されているものをカメラでとらえると、指定された言語に翻訳してくれます。

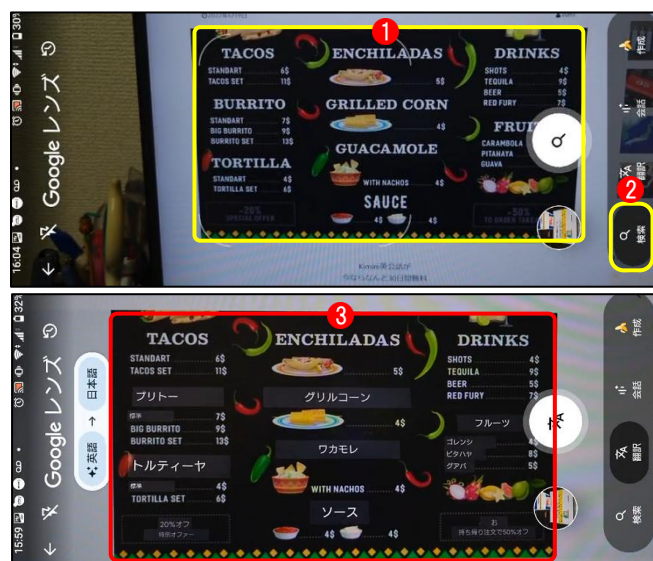
(1) Web に表示されている外国語を日本語に翻訳する

- ① ウェブに掲載されている英語の記事①にフォーカスし、[翻訳]ボタン②をタップします。
- ② シャッターボタンが翻訳ボタン③に変わります。じっとカメラを向けていると、英語が日本語に翻訳されて表示されます④。なお、翻訳の言語は、上部に表示されるポップアップメニュー⑤から設定することができます。
- ④ 翻訳された状態で[翻訳]ボタンになっているシャッターボタン③をタップします。
- ⑤ 日本語に翻訳されたテキストが選択状態⑤になります。
- ⑥ [すべて選択]⑥をタップすると、選択されたテキストがコピー⑦できる状態になります。また、[その他のオプション]⑧からパソコンにコピーすることもできます。



(2) 外国語で書かれたレストランのメニューを翻訳する

- ① 外国語のメニュー①にカメラを向けて、[翻訳]ボタン②をタップします。
- ② 外国語のメニューが日本語に翻訳されます③。



(3) 外国語で書かれた道路標識を翻訳する

- ① 外国語の道路標識①にカメラを向けて、
[翻訳]ボタン②をタップします。
- ② 外国語の道路標識が日本語に翻訳されます③。



5 会話機能

Google レンズの「会話機能（動画やリアルタイム映像を AI に見せながら声でやり取りする機能）」を使うと、「今見ているもの」をスマホのカメラで映しながら、人間のガイドに相談するように音声で質問・対話ができます。

カメラをかざしたまま映像を AI と共有してやり取りできるのが大きな特徴です。

- ① [会話]ボタンを①タップし、調べたい対象（ここでは画面に映っている写真）②にカメラを向けて、質問します。ここでは、「この写真はどこですか？」と尋ねました。
- ② AI が、音声で「これは奥多摩湖ですね。東京都にある大きな人造湖で、豊かな自然と景色が楽しめる人気のスポットです。」、その情報源を表示してくれました③。
- ③ 続けて「東京駅からどのくらいかかりますか？」と質問すると、AI が音声で「東京駅からは、まず中央線で立川まで行き、そこで青梅線に乗り換えて奥多摩駅を目指します。所要時間は、乗り換えを含めておよそ2時間15分くらいですね。さらに奥多摩駅から湖まではバスで約15分くらいかかります。」と詳細な行き方と所要時間等を説明してくれました。
- ④ このように、カメラで目の前のものを見ながら、次々と会話を重ねていくことができるのが、この会話機能の最大の特徴です。
- ⑤ [文字起こし]④をタップすると、それまでの AI とのやり取りが文字で表示されます⑤。



- ⑥ 「文字起こし」をタップすると、通常のチャット（AI モード）画面に切り替わります。この画面では、次の2つの方法で質問を継続できます。

1. キーボードで文字（テキスト）を入力して質問する

画面下部にある「質問する」というテキスト欄⑥をタップするとキーボードが表示され、メッセージを入力して送信できます。なお、マイクのアイコンをタップすると、音声で入力できます。

2. 再び声（音声）で質問する

テキスト欄の右側にある[キラキラ付き音声アイコン]⑦をタップすると、再び音声で話しかけて質問を続けることができます。

- ⑦ 「文字起こし」を押した後はカメラのリアルタイム中継（ライブ映像）が一度終了するため、新しい画像やカメラ映像を見せながら質問したい場合は、画面内にある「カメラ」ボタン⑧から再度カメラ画像を共有して質問を続けます。

なお、それまでの会話の流れ（文脈）はAIが覚えているため、「さっきの場所から電車で何分?」「おすすめの季節は?」といった追加の質問をスムーズに重ねることができます。

- ⑧ 会話の履歴は、Google アプリ⑨を起動（タップ）すると、検索履歴に「AI モード」⑩として残っているので、確認したい検索履歴⑪をタップすると、再度やり取りの内容を見ることができます⑫。



6 作成機能

Google レンズの「作成」モードは、カメラや写真に写っているものをもとに、生成 AI(Gemini) を使って新しい画像を作成・合成・編集できる機能です。

(1) 具体的にできること

① 写っているものをベースに新しい画像を生成する

カメラで自分の服装や部屋、小物を撮影し、「この服を背景をビーチに変えて」「この部屋に観葉植物を置いた画像を作って」と指示すると、AI がその写真を活かした新しい画像を生成してくれます。

② 自撮り写真からスタイルを変更・作成する

インカメラ（前面カメラ）で自分の顔を撮影し、「アニメ風にして」「イラスト風にして」「フォーマルなスーツ姿にして」と頼むことで、自分をモデルにしたバリエーション画像を作成できます。

③ 写真のアイテムを差し替え・アレンジする

写真に写っている特定のオブジェクトを指定し、「この靴を赤いスニーカーに変えて」「このテーブルの色を木目調にして」といった部分的な画像編集・合成が可能です。

(2) 写真に写っている人物をイラスト化する

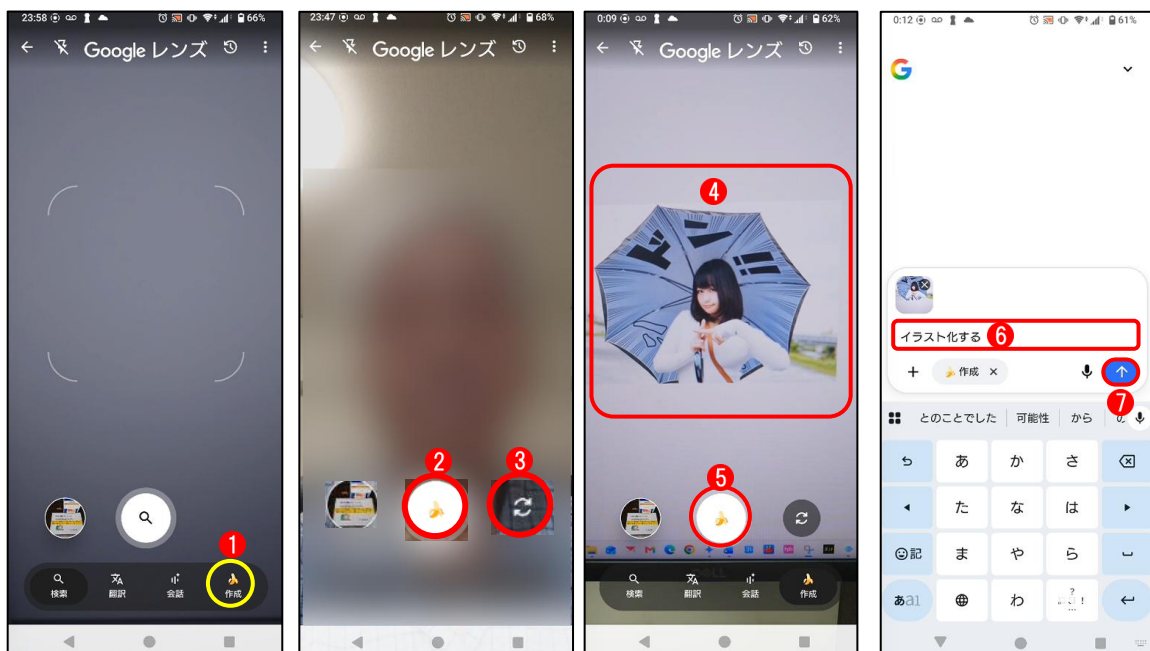
① 「作成」ボタン^①をタップします。

② シャッターボタンが、画像生成 AI 技術「Nano Banana」に由来する黄色いバナナアイコン^②に変わります。

③ カメラがインカメラになっていて、自分の顔が映っています。自分の顔を使って画像を作成したい場合はこのままでよいのですが、他の人や物体を対象にする場合は、カメラの切り替えボタン^③をタップしてメインカメラに切り替えます。

④ カメラを写真の人物^④に向け、バナナアイコン^⑤をタップします。

⑤ テキスト入力欄に「イラスト化する」と入力し^⑥、上矢印ボタン^⑦をタップします。



- ⑥ 作成途中のメッセージ⑧が表示されます。
- ⑦ AI がイラストを作成してくれました⑨。
- ⑧ この画像は、ダウンロードボタン⑩をタップすると、デバイスの「画像」フォルダー⑪に保存されます。



(3) 作成されたイラストをアレンジする

- ① イラスト画像を選択状態にして、テキスト入力欄に「傘の色をピンクにする」①と入力して、上矢印ボタン②をタップします。
- ② 作成途中のメッセージ③が表示されます。
- ③ 傘の色がピンクに変更されました④。
- ④ 今度は、傘の文字を消しました⑤。

